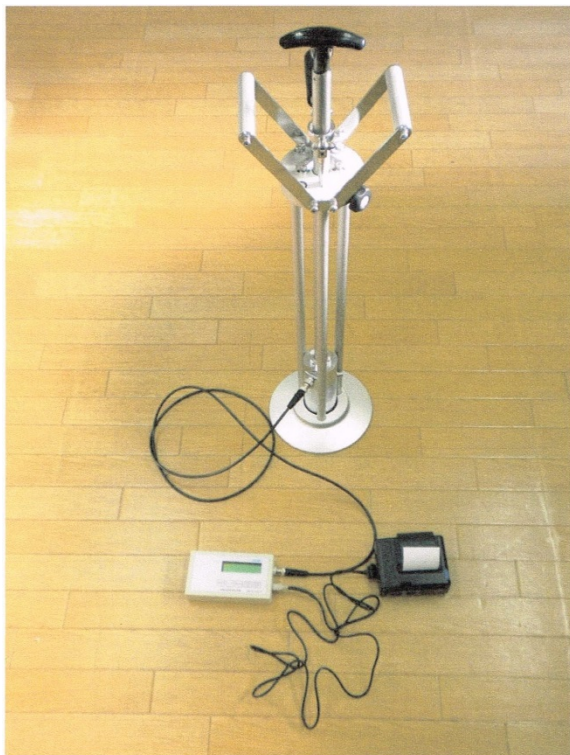


衝撃加速度測定装置

JSE-367G



概要

本装置は盛土現場等における土の密度を測定するものです。従来の方法として土を砂に置き換えた砂置換法は装置が大掛かりなこと、測定結果が出るまで数日間を要するなどの難点がありました。これらの難点を解決し、作業の効率化をはかるために開発されたものです。

特徴

落下装置本体、測定器とプリンターから構成されており、衝撃加速度値を採用した画期的な方法により土の密度を測定します。また、現場作業がランマーウェイトを落下させるだけという非常に簡単なもので、測定結果もその場で即座に得ることができます。

落下装置を片手で支持し、加速度センサーを内蔵したランマーウェイトをある一定の高さより落下させその衝撃加速度値を測定します。測定値(ピーク値)はリアルタイムにデジタル表示し、さらにその値をプリンターに印字することができます。

仕様

落下装置本体	
ランマーウェイト	4.5kg±1% 先端半球部
落下高さ	400mm
ウェイト固定方法	2方爪スライド式
ウェイト落下装置	ワンプッシュレバー式
変換部	TEAC 圧電型加速度センサー ±367G±1% (ランマーウェイトに内蔵)
外形寸法	φ200×804mm
重量	約7.0kg
水平器	上部プレート内蔵
測定器	
電源	角型9V電池
データメモリ	MAX60データ
モバイル型サーマルプリンター	
電源	充電式電池内蔵
付属品	BNCケーブル×1、プリンター接続ケーブル×1、記録紙×1、測定器用電池×1、測定器用電池充電器×1、プリンター用充電器×1、六角レンチ×1、ウェイト固定爪×1、ロックナット締め付け棒×2、落下装置本体収納ケース×1、測定器・プリンター収納ケース×1、加速度値確認棒(約55G相当)×1、取扱説明書×1